

平成 29(2017)年 11 月 6 日

保護者の皆様

豊能町立光風台小学校

校 長 増田 ゆか

「平成 29 年度全国学力・学習状況調査」結果および今後の取り組みについて

秋冷の心地よい季節、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育推進にご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、本年度 4 月に本校 6 年生に実施いたしました「平成 29 年度全国学力・学習状況調査」の概況について、分析結果をまとめましたので、お知らせ致します。

調査内容は国語 A、算数 A（主として知識）、国語 B、算数 B（主として活用）、児童質問紙（生活習慣や学習に対する意識等）で、調査問題、分析結果等の内容は国立教育政策研究所の HP、豊能町の結果概要と今後の取り組み等は町の HP で公表されておりますので、併せてご覧ください。

本校の結果ですが、国語 A、算数 A、算数 B（主として活用に関する問題）の平均正答率は、全国を上回りましたが、国語 B は少し下回りました。国語、算数ともに、知識・技能はある程度定着しているものの、国語の活用力については少し課題があるといえます。ただし、この調査で得られる結果は学力の一部です。母数の少ない本校では、この調査結果を一人ひとりの児童の課題分析に活用し、授業改善に取り組んでいきたいと思っております。

■ 学力調査の結果


【国語 A】（主として知識に関する問題）（○…相当数の児童ができている点 ●課題のある点）

全ての領域で全国平均と同程度か上回る結果でした。

○漢字を読む（申しこみ期限）（事務室前）（指示） 7 (3) (4) (6)

○ことわざ（三度目の正直）の使い方の例の選択 5ア

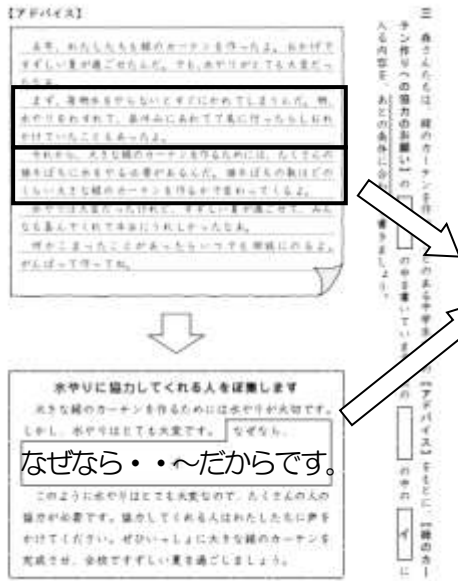
●漢字を書く（参加たいしょう） 7 (1)

●手紙の後付け（日付、署名、宛て名）のそれぞれの位置の選択 2二 



【国語 B】『基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題』

領域のうち、「書くこと」以外の「話すこと・聞くこと」「読むこと」は、大阪府平均、全国平均ともに上回る結果でした。



●募集の文章「水やりに協力してくれる人を募集します」の [イ] に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く。

*全国より 10 ポイント近く低い 23

誤答の特徴として、

- ・二つのアドバイスのうち一つしか書けていない。
- ・「協力をお願い」にふさわしい書き方ができていない。

の2点が挙げられます。

目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題があると言えます。

●話し合いにおいて前後の発言と結びつけて、意図を捉えること 32 (別紙問題参照)

ポイント

- ・日常生活で使用する文や文章の中で漢字を適切に使う学習活動を増やす。
- ・国語以外の授業でも児童の発達段階に合わせて手紙を書く場面を作る。
- ・目的や意図に応じて必要なことを整理して書く場면을意図的に仕組む。

【算数A】(主として知識に関する問題) (○…相当数の児童ができている点 ●課題のある点)

すべての領域で全国平均を上回る結果でした。特に「量と測定」は、全国平均より 13.3 ポイント上回りました。

○小数の乗法の計算や小数と整数の加法の計算 1 (3) 2 (2)

○任意単位による測定の理解 4

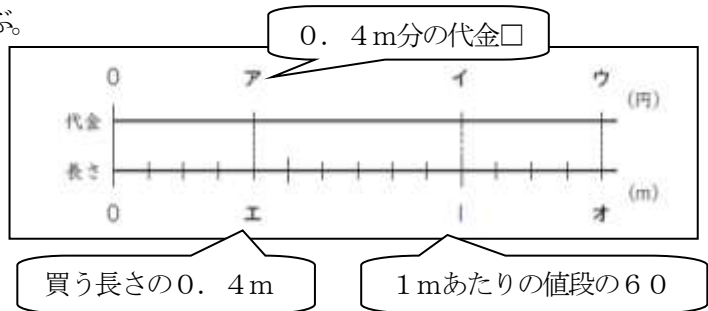
○高さが等しい平行四辺形と三角形の底辺と面積の関係 5

○立方体の展開図から、示された面と平行な面の選択 7

●買ったリボンの長さ、1 m 当たりのリボンの値段 (60 円) と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ。

1 (2)

□が代金を表していることは理解できていても、買うリボンの長さや代金を対応させることができていませんでした。



【算数B】『「基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題」』

すべての領域で全国平均を上回る結果でした。

○飛び離れた数値を除いた場合の平均の式

●仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述する。

3 (2)

表2 ①の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の記録

回数	車が進んだきり
1	7 m 52 cm
2	7 m 31 cm
3	7 m 54 cm
4	7 m 20 cm
5	7 m 43 cm

【かずさんの平均の求め方】聞いたはるなさんは、次のように考えました。

7 mを基準にしてしまった児童が多い。



はるな

7 mのかわりに、7 m 20 cm をこえた部分に着目しても、平均を求めることができます。

正しく測定できなかった結果の場合のみ除くことへの理解に課題

(2) 7 m 20 cm をこえた部分に着目した平均の求め方を、言葉や式を使って書きましょう。

●身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる。 *正答は3割弱 (全国平均 13.2%)

5 (2) (別紙問題参照)

ポイント

- ・問題場面を的確に捉え、イメージできるよう、図や数直線などを効果的に使い、基準量に当たる1に対応する数値を視覚的に捉える習慣をつける。
- ・測定値の平均を工夫して求めるなど、早く求められる方法を考え、その良さを実感できる学習を積み重ねる。

■ 学習状況調査 (児童質問紙) の結果

①学校生活について

○「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」「先生はあなたのよいところを認めてくれている」「自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い意見をまとめている」

●「学校のきまりを守っている」「友だちとの約束を守っている」の肯定的回答の割合が全国平均より10ポイント以上下回っています。

ポイント

- ・学校の教育活動全体で丁寧な指導し、規範意識の醸成に努める。
- ・人権教育、道徳教育を一層すすめる。

②学習について

○「国語、算数の授業の内容はよく分かる」

○「授業で自分の考えを発表する機会が与えられている」

○「原稿用紙2～3枚の文章を書くことは難しくない」

- 「国語、算数の勉強は好きですか」
- 「話し合う活動で、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝える」
- 「授業で学んだことをほかの学習や生活に生かしている」
- 「自分たちで立てた課題に対して自ら考え、自分から取り組んでいたと思う」

ポイント

- ・実生活と結びつく魅力的な課題の工夫など学習意欲の喚起
- ・話し合い活動の目的の明確化、話し合いの方法や結果の共有などの研究。

③生活の様子について

★ 自尊感情や自己肯定感

- 「自分にはよいところがある」
- 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」



★ 読書や家庭学習

- 「平日の30分以上の読書」「図書館の週1回以上利用」割合は全国より10ポイント以上高い。
- 「学校の授業以外に、平日一日当たり1時間以上勉強する」
- 「家で宿題をしている」「家で、自分で計画を立てて勉強している」「家で、予習している」
- 「家で、復習をしている」

★ 家庭での過ごし方

- 「朝食を食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る」「毎日同じくらいの時刻に起きる」
- 「平日にテレビやDVDを3時間以上見る」割合が全国平均より高い。
- 「一日当たりの携帯、スマホでの通話やメール、インターネットの2時間以上の使用」割合は全国より10ポイント以上高い。
- 「携帯、スマホの使い方について家の人との約束を守っているか」、「テレビやゲームのルール」についてはいずれも全国平均よりかなり低い。

★ 地域との関わり

- 「住んでいる地域の行事への参加」の肯定的回答の割合全国より20ポイント以上高い。「地域学習、課外活動などでの地域の人との関わる機会」も同様に10ポイント以上高い。

ポイント

- ・テレビやDVD、携帯やスマホ利用のルールの明確化
- ・復習の習慣化



■ 今後に向けて

以上のとおり、特徴的な項目のみを取り上げて報告いたしました。この結果を真摯に受け止め、課題については全職員で共有します。引き続き児童にとって安全で安心な学校、学ぶことが楽しくてたまらない学校をめざして、ご家庭や地域のみなさまと連携しながら取り組みを進めていきたいと存じます。今後とも、ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。